

決 議

町村は、長い歴史が育んできた独自の文化や伝統を守りながら、国土と自然を守り、食料の安定供給や水資源の涵養など国民生活にとって極めて重要な役割を果たしてきた。

今後もうこうした役割を果たし、活力ある農山村地域を次世代に引き継いでいくことが我々に課された使命である。

しかし、急速に進む少子高齢化による人口減少や、主要な産業である農林業の低迷など、町村を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、町村議会においても議員のなり手不足などの問題に直面している。

また、我が国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の減速の影響等本格的な回復とは言い難い状況にあることから、地域の活性化を図り、その成果を地域の隅々まで拡げることが必要とされている。

こうした課題が山積する中、町村では地方創生の実現に向け、それぞれ独自の創意工夫のもと絶え間ない努力を続けている。

二元代表制の一翼を担う町村議会も、住民の意見を代表し、住民の負託に応えるべく、その役割を果たすよう懸命に努めており、今後も全力を尽くす決意である。

町村議会が、将来に亘り、その機能を十分に発揮するためには、議会の自主性を更に高め、自らの判断により権能を行使できる議会を構築するとともに、町村自治の確立とその前提となる財政基盤の強化が不可欠であることから、下記事項の実現を図るよう強く要請する。

記

- 1 令和元年 10 月の台風 19 号による道路や河川等の災害復旧を推進するとともに、被災町村への人的及び財政的な支援を強化すること。

- 1 議長への招集権の付与など議会の権能強化を図るとともに、議員のなり手となる多様な人材を確保するための環境を整備すること。

- 1 今後起こりうる大規模災害や複合災害に備え、治山・治水・砂防等の公共事業を一体的かつ効果的に推進すること。

- 1 地域住民が適切に避難するための防災情報の発信・提供への支援など、一層の防災対策の強化を図ること。

- 1 将来を担う心豊かな子どもの育成を図るため、小規模学級編成の導入や地域人材の活用の支援など指導体制を充実すること。

- 1 医師及び保健師等の専門職の確保を図り、地域保健医療体制を充実・強化すること。

- 1 幼児教育無償化に係る財源は、国の責任において必要な財源を確実に確保すること。

- 1 野生鳥獣による人への被害等への対策及び森林病虫害による森林被害への対策を強化するとともに、地域の森林の実態に即した森林環境整備を推進すること。

- 1 道路・河川・砂防施設等の整備を促進するとともに、社会資本の老朽化対策を充実すること。

以上決議する。

令和元年 10 月 23 日

長野県町村議会議長会第 29 回定期総会